29 01 02 01 01 001

# 事務事業評価表

## 1．基本事項

作成日　令和03年02月03日（水）

| 事務事業 | 車両管理事業 | 担当課 | 総務防災課 | 担当係 | 庁舎管理係 | 管理番号 | 2902 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第2次総合計画 行政分野別 大項目 | 200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営） | 事業区分 | ■ 自治事務 | □ 法定受託事務 → | 対象拡大 有□ サービス拡充 有□ | | |
| 中項目 | 200002 将来に向けた持続可能なまちづくり | 根拠法令個別計画等 | 道路交通法、深谷市自動車管理規程 | | | | |
| 小項目 | 200003 行財政運営の推進 | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 事業概要 | ・共用車（１３台）、黒塗車両（１台）、塵芥車（１台）、緊急用車両（２台）の管理を行い、定期点検等をすることで事故防止を目指すものである。 |
| 目的<br>※何のために | 市民及び職員の安全確保のため |
| 対象<br>※誰・何を対象に | 共用車（１３台）、黒塗車両（１台）、塵芥車（１台）、緊急用車両（２台） |
| 手段<br>※どのように | ・車両の定期点検等　・市有バス借上げ業務　・安全運転管理者にかかる事務 |
| 成果<br>※何を求めるか | 適切な車両管理及びバス借上げ業務を行う。 |
| 執行体制 | ■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　） |

事務事業を構成する予算事業

| 会計区分 | 款 | | 項 | | 目 | | 細事業名 | 前年度決算額（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 02 | 総務費 | 01 | 総務管理費 | 01 | 一般管理費 | 車両管理事務費 | 11,874,103 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |

本事業の主な業務

| | |
|---|---|
| ・ 共用車両の維持管理 | ・ |
| ・ 安全運転管理者に関する事務の対応 | ・ |
| ・ 市有バス借上げ業務 | ・ |
| ・ 共用車両の貸出管理 | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

## 2．事業費（投入コスト）

単位：円

| 区分 | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度別計画 | | | | | | | |
| 事業費 | 予算（現額） | 4,723,000 | 5,551,000 | 16,026,000 | 16,778,000 | 16,466,000 | |
| | 決算額 | 4,161,098 | 4,827,219 | 11,874,103 | 0 | 0 | |
| 財源内訳 | 国支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 一般財源 | 4,161,098 | 4,827,219 | 11,874,103 | 16,778,000 | 16,466,000 | |
| 人件費 | 従事職員数（人） | 1.84 | 1.89 | 1.19 | 1.21 | 1.21 | |
| | 人件費相当試算 ※1 | 14,313,360 | 14,707,980 | 9,354,590 | 9,859,080 | 9,859,080 | |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| （総事業費試算） | | 18,474,458 | 19,535,199 | 21,228,693 | 26,637,080 | 26,325,080 | |

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

# 事務事業評価表

## ３．評価指標

| グラフ表示 | 区分 | 指標名 | 目標値／実績値 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標なし |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ■ | 活動指標１ | 市有バスの借上げ件数 | 目標値 | 件 | 0.00 | 0.00 | 105.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 127.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 各課にて事前に確認した運行予定件数を目標値としている。 | | | | | | | |
| | | 市有バスを借上げた事業数 | | | | | | | | | |
| ■ | 活動指標２ | 正・副安全運転管理者研修会への参加 | 目標値 | 人 | 8.00 | 8.00 | 9.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 8.00 | 8.00 | 9.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 正・副安全運転管理者全員の受講を目標値としている。 | | | | | | | |
| | | 研修会参加者数 | | | | | | | | | |
| □ | 成果指標１ | 業務に支障をきたしたトラブルの件数 | 目標値 | 件 | | | | | | | ■ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 1.00 | 1.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | トラブルを発生させないことが適正なため、目標値は０件としている。 | | | | | | | |
| | | トラブルの発生した実績 | | | | | | | | | |
| □ | 成果指標２ | 共用車稼働率 | 目標値 | % | | | | | | | ■ |
| | | | 実績値 | | 58.28 | 96.59 | 73.28 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 共用車の利用は、各課の業務状況に応じて変動するため、目標設定は行わない。 | | | | | | | |
| | | 公開羅針盤内の予約日数 | | | | | | | | | |
| □ | 成果指標３ | 共用車台数<br>総務防災課管理の共用の台数 | 目標値 | 台 | | | | | | | ■ |
| | | | 実績値 | | 11.00 | 13.00 | 14.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 共用車台数は、庁内の車両の利用状況に基づき配車されるため、目標設定は行わない。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| □ | | | 目標値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

## ４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

| | | |
|---|---|---|
| 活動<br>（意図した活動を行っているか） | A | 目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明<br>・市事業におけるバス借上について当初の目標以上に対応することができ、安全かつ事業に適した車両での運行が図れた。<br>・正副安全運転管理者の研修会へ全員が参加することができた。 |
| 成果<br>（意図した成果が上がっているか） | B | 目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明<br>・全ての共用車等について、法令等に基づいた適正な管理を行うことができた。<br>・バス借上業務において、当初の予定時間にバスが到着しないトラブルが発生した。 |
| 効率性<br>（効率的に事務を行っているか） | | 目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 |

| 評価者 | 庁舎管理係長　嶋野　靖史 |
|---|---|

## ５．前年度改善改革プラン達成状況

| | |
|---|---|
| 前年度<br>改善・改革案 | ・財政面で厳しい状況が続くが、引き続き経済的かつ安全な公用車走行の励行を促し、事務の効率性を高める。<br>・バスの効率的かつ経済的な借上げ方法を検討していく必要がある。 |
| 達成状況<br>及び<br>その効果 | ・共用車の増加及び各課付の公用車の減少により、共用車の稼働率は高い水準を維持しているが、車両全体の管理費は大きく変動しておらず一定の成果が出ている。<br>・市事業におけるバスの運行については、市有バス車両を廃止し、運行を外部業者への業務委託とすることで安全かつ事業に適した運行を行うことができた。今後においては、運行実績等をもとに深谷市に最も適した契約方法等を検討する必要がある。 |

# 事務事業評価表

## ６．所属長評価（今後の方向性）

| 事務事業 | 車両管理事業 | 担当課 | 総務防災課 | 担当係 | 庁舎管理係 | 管理番号 | 2902 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- ■ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

**評価の内容説明**

共用車については、日常点検等により、適切に運用することができ、また安全運転の啓発等により、大きな事故等が発生しなかった点は評価できる。引き続き適切な車両管理に努めるとともに、安全運転の励行に取り組んでいく。
また、市有バスについては、業務委託化を実施し、運行の安全性、持続性及び安定性を確保している。引き続き事務の効率化等を一層図っていく。

| 評価者 | 総務防災課長　菅原　孝一 |
|---|---|

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

## ７．改善改革プランと今後の課題

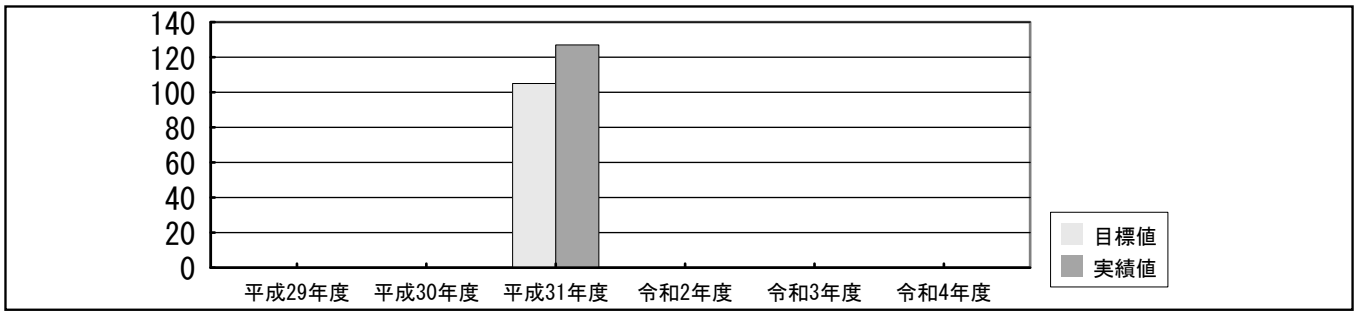
| 改善・改革案 | ・財政面で厳しい状況が続くが、引き続き経済的かつ安全な公用車走行の励行を促し、事務の効率性を高める。<br>・バスの効率的かつ経済的な借上げ方法を検討していく必要がある。 |
|---|---|

## ８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

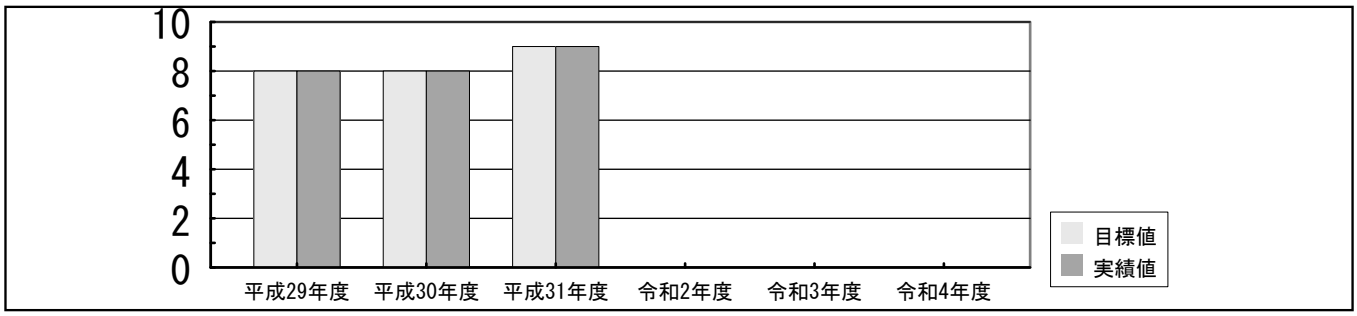
| 今後の課題 | ・新庁舎移転後の共用車両の貸出・管理方法について見直し、新たな庁舎に適した運用方法を検討する必要がある。<br>・安全運転の啓発等に努め、全庁的な事故防止に努める取り組みを推進する必要性がある。<br>・市事業におけるバスの運行委託方法について確立し、市として最も経済的かつ効率的な事務の執行方法を検討する必要がある。 |
|---|---|

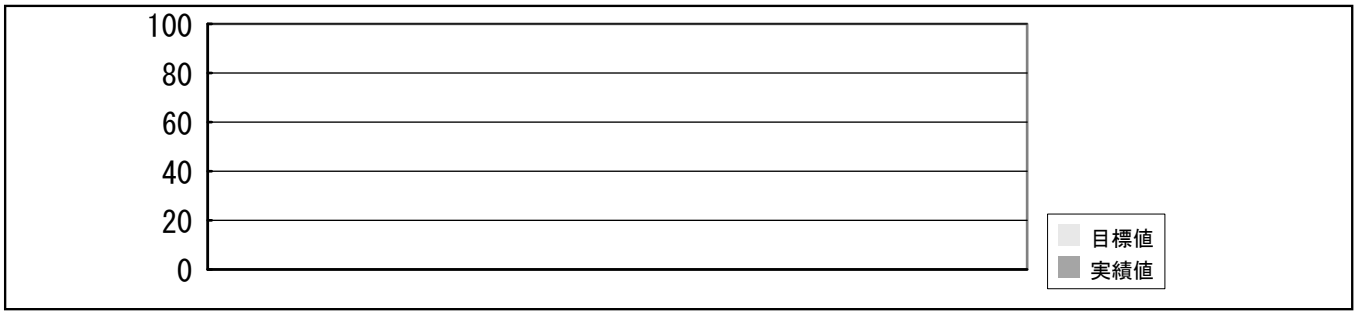
## ９．評価指標グラフ

| 区分 | 活動指標１ | 指標名 | 市有バスの借上げ件数 |
|---|---|---|---|




| 区分 | 活動指標２ | 指標名 | 正・副安全運転管理者研修会への参加 |
|---|---|---|---|




| 区分 | | 指標名 | |
|---|---|---|---|